

経尿道の前立腺切除術を受けられる様

経尿道の前立腺切除術を受けられる様

	入院前日まで	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術翌日から	退院日
月日	月 日		月 日			月 日
到達目標	手術に向けて不安が軽減できる			手術後に起こる苦痛が最小限にできる		退院後の生活がイメージできる
治療 薬剤	・手術日当日の薬は、手術に影響するため医師の指示に従ってください 	・内服薬は薬剤師に預けてください ・預けた薬は、薬剤師が確認します ・確認した薬は看護師がお返しします ・薬の内服は医師の指示によります ・下剤を内服します	・医師から指示された薬を服用します 	・手術後は病棟で経過観察します ・症状に応じて薬剤を使用します ・両足に弾性ストッキングを装着します	・医師が回診をします ・症状に応じて薬剤を使用します 	【薬剤師】 ・薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります 
処置 検査	【入院日までに準備してください】 ☐現在使用中の薬 ☐お薬手帳 ☐ボールペン（必要書類サインのため） ☐入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） ☐入院案内 ☐書類 ☐その他	・指定された時間までに、患者支援センターにお越しください。 * 付き添いの方も来院してください ・必要時採血をします	・予定時刻の2時間前に弾性ストッキングを履いてください ・手術着に着替えます。上半身は手術着のみ、下半身は下着とズボンをはいてください ・入れ歯やアクセサリーなどははずしてください	・手術室で点滴をします ・手術中に尿道カテーテルを入れます ・心電図・酸素モニターを装着します 	・手術翌日朝の検温で問題がなければ心電図、酸素モニターをはずします ・適宜採血をします 	
活動 安静度	・マニキュアを落としてください ・爪切りをしてください	・転倒しないよう、履き慣れた靴の持参と寝衣の裾丈の調整をお願いします	・病棟の中でのみ、歩行は自由です。 	・定期的に体温、脈拍、血圧を測定します ・手術後はベッド上安静です。足を曲げたり横を向くことはできます 	・医師の回診後に看護師付きそいで歩きます。歩行できたら弾性ストッキングをはずします ・以降病棟内での制限はありません	
食事		・夕食後から食事はありません	・絶食です。水分は医師の指示に従ってください 	・手術後数時間で状態が安定していれば水分摂取ができます 	【管理栄養士】 ・手術翌日朝食から食事を開始します ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します ・食事の選択ができます（医師の指示や食種によっては選択ができないものもあります）	・食事は、退院時の医師の指示に従ってください
清潔			・髭剃り、歯磨きをしてください ・化粧はしないでください		・体拭きを行います ・医師の許可があった後シャワー浴が可能です	
排泄		・トイレで排泄できます	・手術室入室前までに、排尿をすませてください	・手術室で尿道カテーテルを入れます	・医師の許可後に尿道カテーテルをはずします。 ・以降トイレで排泄できますが、尿量を記録します	
看護	手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます			手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう看護します		退院後の生活に向けて支援します
患者さん・ご家族への説明	入院による環境の変化や身体への負担が軽減できるよう環境調整を行います。					
	・ご不明な点は、お電話ください ・病院代表 0568-76-4131 入院前日までは泌尿器科外来 入院当日は7W病棟までお問い合わせ下さい 	【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済みの方はありません） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします（外来で説明がお済みの方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、個人識別のリストバンドをつけていただきます ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します	・付き添いの方は、手術終了まで病室またはディールームでお待ちください 【医師から】 ★手術後の説明が主治医よりあります ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます		【看護師から】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります ・退院は午前10時頃までになります ・事務員が請求書を届けます ★病室内点検の後退院となります	

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。患者パス作成 2025年8月改訂 小牧市民病院